



図1 「深鉢形土器」(図中左) とその拓本(図中右)

鯨
～いさな～

第20号

昭島市郷土資料室
〒196-0012
昭島市つつじが丘
3丁目3番15号
アキシマエンシス
国際交流教養文化棟1階
TEL:042-543-1523
FAX:042-542-8002
(昭島市民図書館共通)

に かざ
へビに似た飾りがある土器!?
じゃたいそうしょく
「蛇体装飾」のナ!?



昭島市郷土資料室
公式キャラクター
いさなちゃん

昭島市郷土資料室では、令和七(2025)年十月二十八日～令和八(2026)年二月一日まで、企画展示「新指定有形文化財を紹介～『和田哲氏寄贈資料一括』を見る～」を開催しています。今回は、一月現在開催中の企画展示で展示している「深鉢形土器」について紹介します。

本資料「深鉢形土器」は、昭島市内の「川原道遺跡(龍津寺東遺跡の一部)」から出土した土器であり、縄文時代中期(約5000年前)の「勝坂3式」というグループに含まれます。土器は、その形、文様※、地域などによってグループ(型式)が決まってます。それらの形などの特徴を紙に写して残したもののが「拓本」といいます。

本資料には土器の口の縁に「蛇体装飾」という長い体を巻く「蛇」の姿が文様としてみられます(図1)。

縄文時代の土器には、動物の姿をまねた装飾や把手が付けられることが多いあります。蛇の他には、イノシシや鳥など、縄文時代の人々が狩りで捕らえていたと思われる動物の姿を、当時の土器からみることができます。

土器に動物がみられる理由は、動物の種類によって色々な見方があります。蛇の装飾の場合、蛇が脱皮する姿から「再生」して生まれ変わることを縄文時代當時の人々が想像してつくったものではないかと言われています。

今回の企画展示は、蛇を象徴する巳年にあたる2025年に始まりました。今回の郷土資料室だよりでは、企画展が開催された年の干支の動物から、「蛇体装飾」をテーマとして取り上げました。

※1 土器についている模様をまとめて文様と言います。

令和8年 1月～3月のおもな展示・イベント予定

◎企画展示 「新指定有形文化財を紹介！」『和田哲氏寄贈資料一括』を見る

展示期間：令和七年十月二十八日（火）～令和八年二月一日（日）
展示内容：令和七年五月十三日に市の有形文化財（考古資料）に指定された「和田哲氏寄贈資料一括」の一部を展示します。

◎企画展示 「宮沢町諏訪神社祭礼展示」

展示期間：令和八年二月三日（火）～令和八年四月二十六日（日）
展示内容：市内諏訪神社にて使われているお祭りの道具やお祭りにまつわる古文書を展示します。

イベント 「～化石をみつけて調べてみよう～めざせ！化石マスター～」

開催日時：令和八年一月十日（土）午前十時～正午
内容：アキシマクジラ発見地から採取した石から貝の化石などをとりだす体験を通して、昭島からみつかる化石の種類について学びます。

講師：特定非営利活動法人 Science and Art
対象：小学生と保護者／定員：十組二十名（多数抽選）
会場：アキシマエンシス国際交流教養文化棟二階 講習・研修室
参加費：無料

※ 定員に達したため申し込みの受付は終了しました。
多数のご応募ありがとうございました。

昭島市郷土資料室の展示やイベントの最新情報は、
アキシマエンシスのホームページ（https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html）または
アキシマエンシス公式X（@akishima_ensis）で見ることができます。



利用案内

○開室時間

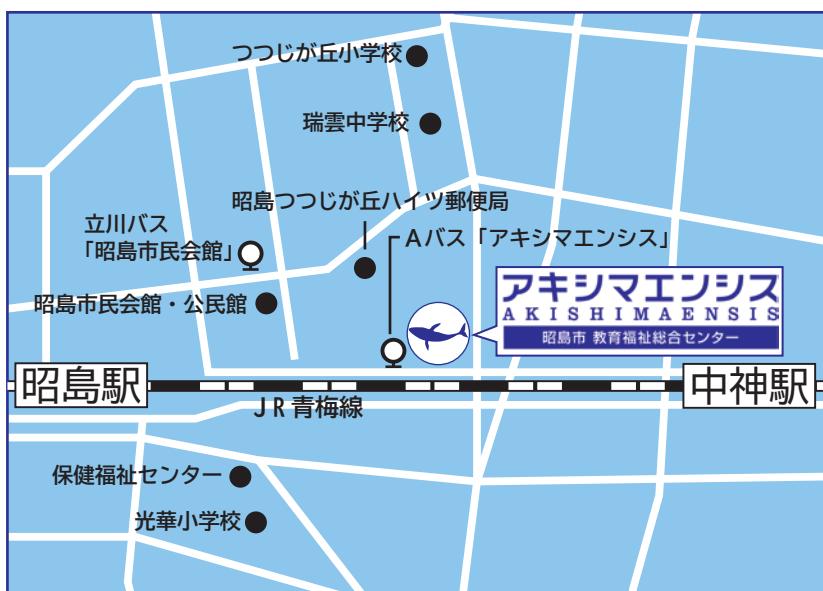
昭島市郷土資料室

火曜日～金曜日 午前十時～午後八時
土・日・祝日 午前十時～午後六時

○郷土資料展示室（見学を希望される方は郷土資料室または郷土資料展示室のスタッフにお声がけください）

○休室日

月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始、特別整理期間



○交通アクセス・アクセスマップ

JR青梅線 昭島駅・中神駅より徒歩10分

立川バス（昭22、昭23、昭23-2、昭24、昭26、拝13）
「昭島市民会館」下車徒歩5分

Aバス（北ルート） 「アキシマエンシス」下車すぐ

○開室時間
昭島市郷土資料室
火曜日～金曜日 午前十時～午後八時
土・日・祝日 午前十時～午後六時

○郷土資料展示室
（見学を希望される方は郷土資料室または郷土資料展示室のスタッフにお声がけください）

○休室日

月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始、特別整理期間